

行 政 報 告

第4回町議会定例会の開催にあたり、日頃からの町政運営に対する議員各位のご協力に対し、心から感謝とお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、地方財政は例年にも増して厳しい状況にあります。計画した各種施策や事業等は、みなさまのご理解とご協力のもと、順調に進めさせていただいております。引き続き、本年度の残された行政課題の解決に努めてまいりますので、一層のご高配を賜りますようお願い申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

はじめに、長万部町地域公共交通活性化協議会について申し上げます。

本町の地域公共交通の現状は、相次ぐJRや路線バスの減便、老人福祉バス・スクールバス事業の費用増大、北海道新幹線長万部関連工事に伴う中央跨線橋撤去時の代替手段の検討や新幹線開業に合わせた二次交通のあり方など課題が山積しております。

こうした課題を整理し、将来に向かって持続可能な公共交通ネットワークなどの検討・協議を進めていくため、町内外の関係機関の方々に委員となっただき、地域公共交通活性化再生法に基づく「長万部町地域公共交通活性化協議会」が11月2日に発足いたしました。

この協議会は、地域公共交通計画の作成及び実施に必要な協議を行うとともに、住民生活に必要な旅客運送の利便性の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項などを協議し、長万部町における持続可能な地域公共交通網の形成に必要な取組を推進していくこととなります。

次に、東京理科大学関係について申し上げます。

11月15日に東京理科大学神楽坂キャンパスを表敬訪問し、今年度から就任した東京理科大学の浜本理事長と面談し、改めて就任のお祝いを申し上げますとともに、今後の町と大学との関係について懇談させていただき、引き続き連携・協力していくことを確認いたしました。

また、新型コロナウイルス感染症が収束した場合、令和５年度以降の経営学部国際デザイン経営学科の長万部キャンパスにおける全寮制教育は、予定どおり実施するとのことでありました。

なお、新築した教員住宅の入居は10月に完了し、学生寮の改修に向けては、引き続き検討中とのことであります。

次に、町民説明会について申し上げます。

北海道新幹線並行在来線の長万部・小樽間につきましては、新幹線開業後の地域公共交通の確保対策として、第３セクター鉄道やバス路線への転換などの選択肢から、沿線各町が本年12月を目途に方向性の決定を求められております。

このことから、町民の方々と意見を交換して方向性を決定する必要性がありましたので、11月18日と19日に町内３カ所で町民説明会を開催いたしました。この説明会には、延べ３４人の方々が出席され、貴重なご意見をいただきましたので、これらを尊重しながら方向性を決定してまいります。

また、中央跨線橋の元町から温泉町までの人道橋の撤去対策につきましても、多くの貴重なご意見をいただきましたので、今後の対策に活かしてまいります。

次に、北海道新幹線関係について申し上げます。

現在、町内では５つのトンネル工事が施工中であり、12月１日現在において、掘削中の立岩トンネルのルコツ工区では、本坑５，０００メートルのうち延長３，４３９メートルが、豊津工区では２，０６０メートルのうち８３８メートルが掘削されており、また、内浦トンネルの静狩工区は、本坑５，５７０メートルのうち延長２，０７０メートルが掘削されております。さらに、豊野トンネル外１カ所では本坑２，１０５メートルのうち７４３メートルが、国縫トンネルについても本坑１，３００メートルのうち６８２メートルが掘削されているところであります。

次に、立地適正化計画について申し上げます。

「長万部町立地適正化計画」は、９月27日に策定し、10月１日に公表いたしました。この計画は、都市機能の集約と公共交通の充実等による持続可能な都市を目指すもので、基本コンセプトを「災害リスクの低減による持続可能なまちづくりの実現」とし、まちづくりの方針を「拠点への都市機能誘導によるコンパクトな市街地の形成」、防災上の対応方針を「災害リスクの低い地域への住居・都市機能の誘導と市街地における防災安全性の強化」と定めるものであり、将来の新幹線長万部駅を中心に都市機能を集約し、居住を誘導する区域を定め、それぞれ維持・誘導する施策を展開してまいります。

次に、高速道路交通警察隊の移転について申し上げます。

函館方面本部交通課高速道路交通警察隊は、昭和57年に前身となる函館方面本部交通機動隊長万部分駐所として発足しました。平成24年に道央自動車道大沼インターチェンジが完成したことに伴い、豊浦インターチェンジから大沼インターチェンジまでの区間が、北海道本部から函館方面本部へ移管され、高速道路交通警察隊が長万部インターチェンジ料金所内に発足、令和２年には交通課の附属機関として編入され、令和４年４月からは、交通課による高速隊の業務管理及び事務処理環境の改善などにより八雲分駐所に移転することとなりました。

次に、生活環境関係について申し上げます。

本年４月から10月までの渡島廃棄物処理広域連合の焼却施設に排出した長万部町の可燃ごみの量は、約１,００５トンで、前年同期と比較し、約５６トン増加しております。

また、ごみ減量化の一環として実施しております衣類の無料回収は、役場窓口での随時受付と５月の巡回地域回収を実施し、今年度は10月末で４８０キログラムの衣類を回収いたしました。

廃食用油は、今年度も役場・福祉センター・各会館のごみステーションに無料回収ボックスを設置して、現在までに６８０リットルを回収し

ており、使用済小型家電についても、同じく役場庁舎内の無料回収ボックスで、700キログラムを回収しております。

町民のみなさまには、今後ともごみの減量化やリサイクルへのご協力をお願いいたします。

次に、町民の健康増進等について申し上げます。

健康づくりの推進につきましては、特定健診やがん検診といった各種検診の受診率向上のため、無料クーポン券の配布や対象者への受診勧奨を行いながら実施しております。今後も検診の必要性を周知し、早期発見のため受診率向上に努めてまいります。

健康教室につきましては、10月に長万部高等学校で命の大切さや自己肯定感を高めるための授業を、11月には町内の保育所、幼稚園で歯磨き教室を、また、マリア幼稚園では食育教室についても実施しております。今後は、高齢者を対象に食生活改善教室を実施する予定であります。

次に、感染症対策について申し上げます。

新型コロナウイルスワクチンの接種は、希望者に2回の接種を実施しており、現在、3回目の接種に向けて準備を進めております。

また、インフルエンザの予防接種は、長万部町立病院で実施中であります。

感染症の予防には、ワクチン接種のほか、手洗いやうがい、マスクの着用、咳エチケットなどの感染対策を徹底することが大切です。今後も感染症対策について、町広報などにより周知を続けてまいります。

次に、高齢者福祉関係について申し上げます。

地域敬老会につきましては、昨年度に引き続き本年度においても新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域敬老会の開催の代替として記念品等を配布していただくことにより、高齢者の長寿を祝福し、社会に貢献した労をねぎらっていただくよう各町内会等へお願いしていたところ、対象者1,238人に対し27地域で1,131人の方へ配布していただきました。

来年度こそ新型コロナウイルス感染症が収束し、例年どおり各地域で開催できることを願っております。

また、長寿のお祝いと社会貢献へのお礼をこめて、9月11日から20日までの10日間、町内にある公衆浴場について助成を行い、無料開放を実施したところ、1,123人が利用されました。

次に、冬期福祉給付金（福祉灯油）について申し上げます。

本格的な冬に向かい、灯油料金の増嵩、電気料金の高止まりに鑑み、高齢者や障がい者等で低所得の状況にある方に灯油購入費等の一部を助成し、経済支援により在宅福祉の向上を図ることを目的に、昨年度と同様に冬期福祉給付金事業を実施するため、補正予算を本定例会に提案いたしております。

次に、農業関係について申し上げます。

家畜の主たる飼料作物の牧草やサイレージ用トウモロコシは、大きな天候の崩れもなく、おおむね平年並の収量を確保している状況であります。

生乳生産量は、4月から9月まで約4,827トンを出荷し、前年に比べ約121トンの増となりましたが、乳価下落により乳代は約4億2,859万円で、前年に比べ約2,938万円の減となっております。

黒毛和牛の4月から9月までの販売頭数は129頭、販売金額は1億822万7千円で、前年同期と比較して、販売頭数は2頭の減で、販売金額は2,333万3千円の増となりました。

牧野関係は、生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場運営事業を実施しておりますが、10月28日に下牧が完了しております。この間の入牧延べ頭数は63,249頭で、前年に比べ2,751頭の減となりました。

次に、林業関係について申し上げます。

町有林一般造林事業は、共立地区にて地拵・植栽事業を3ヘクタール実施し、10月29日に完了しております。

また、森林整備センターとの分収造林事業は、豊津・豊野地区にて作業道修繕工事を3,890メートル実施し、11月18日に完了しております。

次に、漁業関係について申し上げます。

本町のホタテ貝養殖漁業での11月末現在の種苗の生育状況は、へい死・変形等は平年に比べ少なく順調に生育しておりますが、春の耳吊り時期までの生育状況を、渡島北部地区水産技術普及指導所等各関係機関と連携し、調査を行う予定となっております。また、成貝は例年どおり12月中からの出荷を予定しております。

国のアイヌ政策推進交付金事業にて行ったホタテ貝稚貝管外移入作業は、本年10月末までに終了しております。

本年の秋鮭漁は、11月26日現在、漁獲量は約135トンで、前年に比べ約204トンの減となっており、漁獲金額は約1億1,705万円で、前年に比べ約1億3,379万円の減となっております。

次に、商工観光関係について申し上げます。

中小企業の業況は、原材料価格の上昇や人手不足への懸念、さらにはコロナ禍における消費減少など、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、中小企業の健全育成と経営安定のため、国や道の様々な金融支援に対し、関係機関と連携し、町としての認定窓口等の設置を行っております。

また、長万部商工会では、会員の高齢化や後継者不足などにより、会員数が衰退傾向にあることから、地域活性化を図るため、平成30年度から後継者対策を含む経営改善等の支援を実施しており、本年度は17事業者が申請し、そのうち9事業者が採択となり、経営改善に努めております。

上期の観光客入り込み数は、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、前年度の約7万6,200人に対し、本年度は約6万1,100人

と、約19.8パーセントの減少となりました。コロナ後の観光コンテンツ造成を目指すため、「長万部町観光地域づくり協議会」では、屋内体験から密を避けることが可能な屋外体験への移行を模索するため、モニタリングを実施し、通過型観光客を取り込む受入体制強化に努めております。

また、観光客誘致事業は、新型コロナウイルス感染症流行により、サッポロビアガーデンふるさとPRステージやオータムフェストなど、参加を予定していたほとんどのイベントが中止となっております。

次に、労政関係について申し上げます。

本年度も季節労働者の労働環境向上のため、渡島檜山北部通年雇用促進支援協議会を中心として、雇用相談や求人情報の提供、技能研修などを通して、通年雇用に向けた支援を行っております。

次に、消費者相談関係について申し上げます。

近年、悪質商法や訪問押し買い詐欺、料金不正請求など次々と新しい手口による消費者問題が多く発生しており、消費者の安全確保についての苦情相談など、住民に対して必要な情報収集や提供を行うため「消費生活相談員」を配置するとともに、全国消費者生活情報ネットワークを活用して全国の最新苦情相談情報を収集しております。

今後、ますます巧妙化する手口への対応が必要とされる中、専門研修参加等により相談担当職員の資質向上を図り、消費者啓発セミナーの開催、関連する部署間の情報交換や町広報での消費者の安全確保に関する情報周知を継続して行い、住民の消費者生活被害予防に努めてまいります。

次に、建設関係について申し上げます。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事及び管内道路排水等清掃業務は、工期内に完成しております。

土木事業では、高砂地区の老朽化した道路側溝施設を取替するための町道北九号線側溝取替工事につきましては、令和4年3月30日までの工期で実施中であります。長万部町河川堆積土砂管理計画策定業務委託は、12月24日までの工期で、また、道路メンテナンス補助事業として実施する、長万部町橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託は、令和4年3月4日までの工期で実施中であります。

住宅関係では、北海道新幹線建設に伴う町営住宅南部団地移設に関して、町営住宅仮称新南部団地建設工事基本設計業務委託につきましては、引き続き令和4年2月28日までの工期で業務を実施中であります。その他、町営住宅や各公共施設の修繕工事につきましては、計画的に実施しております。

除雪関係では、協同組合長万部町建設協会と11月4日に本年度の除雪に関する委託契約を締結し、町道や公共施設等の除雪作業を実施してまいります。

公園事業では、今年度のあやめ公園パークゴルフ場の利用は、11月3日で終了いたしました。パークゴルフ場の利用者は3,412人で、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休業期間を設けたこともあり、前年度に比べ、4.9%の減となっております。また、長万部公園キャンプ場は、今年度も開設を取り止めたところであります。

次に、公共下水道事業について申し上げます。

公共下水道污水管路カメラ調査外業務委託は、1号幹線系統を10月5日に、2号幹線系統は11月25日に完了いたしました。

また、下水道マンホール蓋交換外修繕工事は、11月25日に完了しております。

次に、ガス事業について申し上げます。

ガス本支管耐震化（JR室蘭本線工区）は、令和4年1月31日までの工期で施工中であります。

次に、水道事業について申し上げます。

11月15日に発生した旭浜地区での漏水事故につきましては、民間の方が誤って水道配水管を損傷させたことが原因で、旭浜地区の一部で断水状態に陥りました。町では早急に状況を把握し、防災ラジオ等で対象地域に周知をしつつ、復旧工事につきましては3時間程度で完了いたしました。町民のみなさまには、大変ご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。

その他、上水道静狩地区浄水施設3号取水井ボーリング掘削工事は、令和4年2月28日までの工期で施工中であります。

次に、教育関係について申し上げます。

静狩小学校の閉校につきましては、令和4年度の静狩小学校の児童数は全校生徒2名となる予定でしたが、静狩小学校PTA及び静狩振興会並びに静狩小学校教員の合同協議会を開催し、現状の児童数、将来の入学予定を勘案した場合、あまりにも少数での教育環境は、児童の資質向上や本来の教育効果が見込めないことから、静狩小学校を閉校して長万部小学校に統合することが最善の方策ではないかという結論に至ったとの報告を受け、令和3年度末をもって閉校することといたしました。

統合先の長万部小学校への登下校につきましては、保護者からの要望を考慮し、スクールバスを運行してまいります。

なお、閉校に伴う条例の一部改正及び閉校記念事業に係る補正予算を、本定例会に提案いたしております。

次に、消防関係について申し上げます。

本年11月末現在までの火災発生はありませんでした。

救急件数は260件で、うちドクターヘリでの搬送は10件となっており、前年同期と比較し火災が5件の減、救急が17件の減、ドクターヘリ搬送件数は12件の減となっております。

火災予防の事業では、秋の全道火災予防運動期間中、ポスターや「火の用心」の旗を掲示したほか、旅館、大型店舗など不特定多数の方が出

入りする施設の防火査察を実施いたしました。

消防団の事業では、10月12日に新入団員3名の辞令交付式及び教育訓練を実施いたしました。

また、令和4年の消防出初式につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小して挙げる予定であります。

終わりに、本定例会に提案した議案は、条例の制定、一部改正、各会計補正予算など、合わせて10件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。